

まつうら 市議会だより

第70号

令和6年8月1日

編集・発行
市議会だより編集委員会
電話 (0956) 72-1111

令和6年度一般会計補正予算5734万9千円可決

高齢者予防接種事業費やアジフライの聖地松浦経済波及効果分析事業費などが計上されました。

6月
定例会



令和6年7月1日

柚木川内キャンプ場開き安全祈願祭



ALTジョーダン・ビーストン先生による尺八披露



まつうら市議会だよりは再生紙を使用しています。

令和6年 6月定例会

令和6年6月定例会を、6月14日（金）から6月26日（水）までの13日間で開きました。

今回の定例会では、松浦市手数料条例の一部改正などの条例4件、令和6年度各会計補正予算8件、その他の議案13件、請願4件が上程され、最終日には、その他の議案1件、同意案1件、議員提出議案2件が追加上程されました。

上程された33議案について、30件を原案のとおり可決、承認、同意、採択し、請願3件を継続審査としました。

なお、予算繰越等6件の報告を受けました。

（※議案等の審議結果については、13ページから掲載）

会期日程

6月
14日（金）

本会議

▽会期の決定

▽会議録署名議員の指名

▽議長報告

▽市長の市政概況報告

▽鷹島海底遺跡保存活用特別委員会の中継報告

▽西九州自動車道及び道路網整備促進特別委員会の中継報告

▽市長提出の諸事項報告

▽市長提出案件の上程・説明

▽審議・主管委員会付託

▽請願の受理報告・主管委員会付託

▽陳情の受理報告

15日（土）・16日（日）
休 会

17日（月）・19日（水）
本会議

▽一般質問

20日（木）・21日（金）
委員会

22日（土）・23日（日）
休 会

24日（月）
委員会

25日（火）
休 会

26日（水）
本会議

▽主管委員会付託案件の審査報告・採決

▽市長提出の諸事項報告

▽市長提出案件の追加上程・説明・審議

▽議員提出議案の上程・説明・審議

▽議員提出議案の上程・説明・審議

▽議員提出議案の上程・説明・審議

一般質問

一般質問は、市政全般にわたる議員が執行者の考えを質すものです。本市議会では、議会運営上1人当たりの質問時間は、60分以内（答弁と関連質問を含む）としています。

今定例会では、6月17・18・19日の3日間で10人が質問を行いました。

市議会だよりは、紙面の都合により質問項目のうち2項目以内で要点を簡略にまとめて掲載しています。（登壇順）

詳しくは、松浦市公式ホームページで公開する会議録または次の場所に備えている会議録をご覧ください。

- 市役所議会事務局
- 市役所各支所・出張所
- 市立図書館
- 市立公民館



会議録はこちらからもご覧になれます。（6月定例会の会議録は9月定例会前に公開予定）

議会は

インターネットで

ご覧いただけます。

次の定例市議会は

9月です。

松浦市公式ホームページで生放送します。パソコン、スマートフォンなどで視聴が可能です。また、ホームページでは録画映像の視聴もできます。

松浦市公式ホームページアドレス
<https://www.city-matsura.jp/>



録画映像はこちらからもご覧いただけます。

お問い合わせは

議会事務局へどうぞ

Tel (0956) 72-1111

一般質問



大橋 議員

○松浦貯蓄共済協同組合の監督行政庁としてのこれまでと今後の対応について

質 市が受け取っていた決算関係書類について、監事の監査、理事会、総代会の承認等の手続きがされていたか、市は確認を行われていたのか伺います。

産業振興課長 決算関係書類が組合内で所定の手続を経て提出されたか、市として確認していた記録はありません。

質 過去3期分の損益計算書、借入金返済原資となる当期利益の金額の推移をお伺いします。

産業振興課長 当期純利益について、平成28年度 △16万8787円、平成29年度 △27万2705円、平成30年度 △31万1963円、となっております。

質 松浦市が貸し付けた貸付金の年間返済額は193万円です。利息を含めると200万程度になると思いますが、松浦市に支払う原資はこの3期分の損益計算書を見てどこから出てくると判断されたのかお伺いします。

産業振興課長 どこからその原資が出てきたか、出す予定だったのかについての記録はありませんでした。

質 行政書士会などに委託して窓口を開設し、組合の債権、債務を精査して債権回収に努めるなど、市が率先してこの問題の解決に取り組んでいただきたい。そうすることによって、ひいては市の貸付金の回収にもつながる可能性もあると考えています。市長の考えをお伺いします。

市長 所管行政庁としては、引き続き中小企業等協同組合法に基づいた運営がなされるよう業務改善を求めていく必要があると考えています。

4月23日には組合の説明会が開催され、それに基づいて対応されるということですので、しっかり注視していくことも必要だと思っています。一方で、商工振興の面から、このままでよいとは当然考えておらず、機会を捉えてサポートしていきたいと考えています。

組合においても、説明会を踏まえ、今後の組織体制や債権回収に向けた取組方針が決められるものと考えていますので、その取り組みが進められる中で、できる限りの側面的支援はしたいと考えています。どのような支援が最善であるかを検討するとともに、関係団体とも情報を共有しながら最大限取り組んでいきたいと考えています。

一般質問



水 議員

○市営住宅の柔軟な活用と今後の見通しについて

質 市営住宅に関し、入居者募集の手続きや、入居要件等で入居を諦められたという事例があればお聞かせください。

都市計画課長 公募や入居可能な時期、入居までの期間などにより、申込みを断念された方もいたと判断しています。また入居要件が原因で断念された事例として、連帯保証人の確保が困難という理由により辞退された案件が2件ありました。

質 市営住宅の柔軟な運用を図るため、公募時期や入居要件等の見直しが必要だと感じますが、市長の見解をお聞かせください。

市長 市営住宅については、住宅に困窮する方々に対し低廉な家賃で住んでいただくことが大きな役割であることと認識しており、住宅を求めの方々へ希望する時期に住宅を提供できていないという状況については改善が必要であると考えています。

○官民共創によるスポーツを活かしたまちづくりについて

質 大会の開催に関し、広域都市圏

での連携した取り組みによって、松浦市へもたらす経済効果、また同時開催都市と比較した経済効果の差についてお聞かせください。

生涯学習課長 今年開催される日本スポーツマスターズ2024長崎大会軟式野球競技を参考とし、松浦市野球場での参加予定は、2日間で延べ10チーム、1チーム当たり最大登録が24人と聞いていますが、チームの応援者、大会役員関係者、観戦者なども含めた方々の、宿泊・お食事・お土産購入などによる経済効果が見込まれるものと考えています。また、同時開催の他の自治体についてですが、メインの佐世保市が3日間で延べ、本市の倍の20チームが参加されますので、その分、経済効果も大きくなるのではないかと試算をしています。

質 今後、部活動の地域移行によって、日ごろの練習場所等を確保しなければならぬといった問題も出てくるのではないかと考えられますが、教育長の考えをお聞かせください。

教育長 学校の部活動は、成長期の中学生にとっては、心身を鍛える場であり、目標に向かって努力する場であり、人間関係づくりを学ぶ場であると考えています。

練習場所の確保についても検討事項の一つとして、部活動在り方検討委員会できっかりと議論していきたいと考えています。

一般質問



吉岡 議員

○本市のスポーツ振興と運動施設の使用料及び遊具などについて

質 小中学生が運動施設を夜間に利用する際、屋内施設利用料と屋外施設利用料の差があり過ぎると感じているが、再検討の考えはあるのか伺います。

生涯学習課長 一人でも多くの子どもたちが、スポーツを楽しめる環境を整えることは、市の責務であると考えています。

子どもたちの社会体育団体が今後にも存続していけるように、条例規則に基づいた夜間照明施設使用料金の設定のあり方および減免措置について検討を行っていきます。

質 つきの島公園の遊具、ベンチの屋根、照明交換などについて、今後の市の対応について伺います。

市長 つきの島公園は県の所管施設であり、施設の維持管理をするために田平土木管理事務所があると認知していますので、連携はしっかり取っていくべきと思っています。

遊ぶ方にとってみれば、県の施設

だろうと市の施設だろうと関係ないため、不具合箇所気づいたときに速やかに県に報告し、市として対応できる点は適切に対応し、また県に対しては、適切に対応いただくよう市として求めていると思います。

○青島診療所の診療報酬不正と今後の診察について

質 青島地区の要望でもある、常駐医師について市は現在も募集を行っているが、今後も募集を行う考えはないのか伺います。

市長 以前は、市内における夜間の救急搬送体制の脆弱さの点から、青島において常勤医師の募集を行っていましたが、令和2年11月に松浦中央病院が開設され、夜間の救急搬送を市内で受け入れる体制が整ったため、現在、常勤医師の募集は行っていない状況です。

また、さらなる救急搬送体制の強化について、交通船の導入など、他のさまざまな課題と併せ、今年立ち上げられた青島まちづくり運営協議会と協議しながら、今後のまちづくりの観点から課題解決に努めていきます。

一般質問



武部 議員

○松浦貯蓄共済協同組合について

質 金銭消費貸借契約書を取り交わす際の、貸付金の連帯保証人に対する保証意思確認は、極めて重要ですが、なぜ市は保証意思確認を行わなかったのか、お尋ねします。

市長 本件について、中小企業振興資金貸付金請求に基づいて係争中であるため、答弁を控えます。

質 訴えを取り下げ、市が、一定期間を設け専門家などに委託して、当該組合の債権・債務を精査し、債権回収の指導・支援を行うことで、市の貸付金の回収にもつながると考えますが、市の考えをお尋ねします。

市長 令和3年以降、組合に対し、所管行政庁として改善を求めるほか、適切な会計処理や台帳整備の必要性に加え、債権回収に向けた助言についても再三にわたって行ってきました。

組合からは未収金についての督促や催促に対し何ら対応がなかったのが実情です。このようなことから今回の提訴に踏み切ったものであり、これを取り下げる考えはありません。

一方、商工振興の面からは、この

ままではいいとは決して考えておらず、できる限りの側面的支援は今後も行っていきたいと考えています。

○ともだビジョンについて

質 市長はともだビジョンについて、これまでの答弁で「松浦市にはたくさん伸びしろがある」と話されていました。既に市長は2期目の中盤ですが、「アジフライの聖地松浦」の成功の他に、どのような伸びしろがあると考えているのかをお尋ねします。

市長 市内各地域にはまだ十分に生かし切れていない多くの地域資源、いわゆる伸びしろがあり、新たな視点や仕組みを取り入れることで大きな変化を生み出す可能性があると考えています。

本市の新たなまちづくりの仕組みとして、市内3地域で設立されたまちづくり運営協議会では、地域の伝統文化をはじめ、歴史、食、自然、景観など、地域ならではの魅力や特色を生かすための取り組みが地域主体のまちづくり計画として策定されています。

引き続き、地域が行政と一体となつて松浦市全体の伸びしろを伸ばすことができるよう、積極的に取り組んでいきたいと考えています。

一般質問

鈴木 立
議員

〇年々耕作地の荒廃拡大が進む山間地が与える影響について

質 山間地域の田畑が年々荒廃農地となり拡大している。農業従事者の高齢化、農業後継者減少に伴う要因が大きく影響している。現在、年間に相当の日々を費やして、グリーンアース組織員により、農用地、水路、農道等地域資源および農村環境の保全がなされている。今後、新たな制度を国に要望しなければ、農用地荒廃は急速に拡大すると思われる。畜産農家が減少すると、稲WSC（発酵粗飼料）農地が荒廃農地となり悪化連鎖の拡大となる。この現実についての考えを伺いたい。

農林課長 昨年4月1日に、農地の集積を推進する法律（農業経営基盤強化促進法）が改正され、市町村ごとに地域計画の策定が義務付けられました。この地域計画では、地域での話し合いにより目指すべき将来の姿を明確化し、それを実現するため、地区内外から農地の受け手を幅広く確保しつつ、農地バンク等を活用した農地の集約化等を進めるとされています。松浦市では市内を22か所に分け、今年度内の策定に向け、各

地域での協議の場を設け、話し合いを進めています。

〇住環境の重要性と個々の生活権について

質 住環境は大変重要である。企業誘致においては住環境について最大限配慮すべきである。また、騒音、風力発電の低周波による精神的疾患などに特に注意が必要である。生まれ育った住環境は孫、ひ孫代々にわたり、穏やかな里山を乱される事なく快適であるべきだが、今後住環境と生活権の確立をどのように考えられているのかを伺いたい。

産業振興課長 企業誘致は、地域との共存を図り、地域貢献ができる企業であるかという点、また、誘致する企業が周辺の住環境に適した業種業態であるかという点など総合的な観点から判断を行い、進めていきたいと考えています。

市長 工業用地等の建設にあたっては、住民説明会等において、概要や立地計画等を丁寧に説明し、地域の方々の理解を得ながら進めていかなければならないと思っています。一度企業が立地すると、長期間にわたって存在しますので、周囲の理解、皆さま方の共存共栄が大切だという視点を常に持ちながら対応していかなければならないと思っています。

一般質問

田中 健
議員

〇玄海町における核のごみ文献調査受入れに対する松浦市の考え方について

質 玄海原発に関して要望している避難道路および海上輸送のための岸壁の整備等については全く進展がないまま、放射性廃棄物の最終処分場の話を進めていく国の姿勢に、非常に反発を感じていますが、この件について市長の見解をお伺いします。

市長 鷹島地域は、玄海原発から最短で8・3kmの距離にあり、平成23年に発生した東日本大震災以降、鷹島地域がPAZに準ずる地域、そのほかの市内全域がUPZ地域に指定されており、毎年の原子力防災訓練など、市民には大きな不安と負担が課せられています。これまで再三にわたり原子力災害時の避難道路の整備、海路避難のための岸壁の整備など、実効性のある施策を国に求めてきましたが、それらが実現されていない中で国による玄海町に対する文献調査の申し入れは、市民に新たな負担を課せられることになりかねず、強い憤りを覚えるとともに、周辺自治体に対する配慮が欠けていると感じています。

質 長崎県知事および玄海原発から30km圏内の近隣首長からは、様に国に対する不満および説明責任を求める声が上がっていますが、今後国に対してどのような行動をとろうとされているのか市長の見解をお伺いします。

市長 長崎県や関係自治体と共に、今回の文献調査の対応も含めて、改めて原子力防災対策に係る要望を行うべく、現在、平戸市、壱岐市、佐世保市の首長に直接働き掛けを行い、まずは4市により県に対して要望を行うために調整を行っております。

また、5月27日に本市から長崎県に対して要望を行いました。この中で、大石知事に改めて国に対して長崎県と関係4市が一緒になって要望を行うようお願いをしました。大石知事からは、こういった座組で何を要望していくのか整理する必要がある、4市と一緒に考えていきたいとの意見をいただきました。

まずは4市と連携を取って速やかに長崎県へ要望し、その上で、県と共に国へ要望できるように進めていきたいと思っています。

このほか、「消防団員の現状と今後の対策について」などを質問しました。

一般質問

嶋田
議員

○市内小中学校のトイレ改修について

質 市内小中学校の築年数が古くなり、使用できないトイレが目立っていると思うが、小学校、中学校別にトイレの状況はどうなっているか伺います。

教育総務課長 現在の小中学校合わせたトイレの数は、合計426基です。このうち、小学校では11基、中学校では9基が使用不能となっております。小中合わせて全体の4%に当たる20基が現在使用不能となっております。多くが水洗の不具合であり、排水管の詰まりなどが要因だと思われ

質 新一年生が和式のトイレを使用するのが怖いとの声もあるが、改修について市長の考えを伺います。

市長 学校施設のトイレは、快適化、バリアフリー化など、新たな社会的要請に対応するために教育環境の質的向上が求められており、教育活動に支障を来さぬよう、適宜修繕を図りたいと考えています。また、洋式トイレの比率を60%〜70%程度まで引き上げたいと考えています。なお、小さな児童の課題について

は、実態を調査した上で、対応について教育委員会と協議したいと思えます。

○小中学校の併設について

質 併設することのメリット、デメリットについて伺います。

学校教育課長 メリットとしては、小学校教育から中学校教育への円滑な接続が期待できます。さらに、小学校6年間と中学校3年間の9年間を通じた小中一貫型小学校・中学校への移行も検討しやすくなります。

デメリットとしては、体育館や音楽室、家庭科室などを利用する際の小中学校間での連絡調整が大変であるということや6年生が中学生に遠慮してリーダー性を発揮しづらいといったことがあります。

質 今後、市内の小中学校の併設の考え方について伺います。

教育長 学校の適正配置の基本的な考え方として「小学生は地域で育てる」「中学生はより多くの同世代の中で育てる」「福島・鷹島地域は松浦地域と分けて考える」の3つの考えを持っており、小学校は学校規模に関わらず現状の配置を維持し、中学校は、今後の人口減少と少子化の状況を見極め、一学年複数クラスの確保を目標とし、統合を検討する考えです。現在、松浦地域において、新たな小中併設校というのは考えていません。

一般質問

川下
議員

○魚市場敷地内及び隣接地の野良猫対策について

質 厳格な衛生管理が求められる施設の近くに猫がいるのは好ましくないとと思うが、市の考えを伺います。

水産課長 松浦魚市場は、E-U-HACCPの認定を受けた施設であり、徹底した衛生管理が求められており、設置管理者として敷地内に猫がいることは好ましくないと考えています。

質 県は殺処分ゼロを目指しているが、野良猫対策の一つとして殺処分は選択肢の中にあるのか伺います。

市民生活課長 基本的には県の所管となりますが、市の方針として殺処分という方針はありません。

質 餌やりを続けている人もいる現状にあって、本当に解決するためには真剣に取り組む必要がある。任意の団体を作り地域猫化し、将来野良猫がいなくなるようにしなければと思うが、市の考えを伺います。

市民生活課長 長崎市、佐世保市以外における県内の地域猫活動の推進事業については、県が実施をしています。市は、県から要請があった場合に必要な協力を行いたいと考えて

います。

○若者の孤独・孤立に対する市の対応について

質 悩みを抱える児童生徒に対する、子育て・こども課のフォロー体制の状況を伺います。

子育て・こども課長 令和6年4月に子ども家庭センターを設置し、学校、保育所、民生委員や主任児童委員、また地域の方々、子育て中のご家族等からの情報や相談に随時対応し、支援を行っています。

質 令和5年度の相談件数と内容について伺います。

子育て・こども課長 113人、61世帯の取り扱いがあり、虐待や不登校、発達障害・知的障害等による適応困難、また親の精神疾患や生活困窮等、複数の要因が複雑に絡み合っているケースがほとんどでした。

質 全国では平成7年から令和4年まででスクールカウンセラーを設置している学校数は200倍増えたが、子どもの自殺数は4倍に増えている。厳しい状況に置かれている現場に応じた体制整備を進めていただきたいが、市の考えを伺います。

市長 子どもたちを守るための体制を確保するとともに、松浦市子どもサポート推進協議会の構成機関をはじめとして、地域全体で子どもたちとその家庭をサポートできるよう働き掛けていきたいと考えています。

一般質問

和田
議員

○建設業界に対する支援策について

質 市内の建設業を取り巻く危機的状況を救うためには、市が速やかに従来の考え方に手を加える必要があります。入札執行事務に関し、地元業者による受注拡大のため、早急に徹底した保護施策を実施する必要があると考えますが市長のご所見を伺います。

市長 建設業はインフラ整備を支える不可欠な存在であり、防災、減災、老朽化対策など「地域の守り手」としても重要な役割を担っていただいています。

松浦市建設業協同組合の要望活動の折に、喫緊の課題として「最低制限価格の引上げ」「余裕期間制度の導入」といった制度に係る要望と「地元業者の育成」についてご要望をいただきました。組合が問題視されていた技術者の高齢化や担い手不足については、全国的な喫緊の課題となっています。

平成26年に「建設業法」「公共工事の品質確保の促進に関する法律」「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」を一体として改正され、建設業の担い手の中長期

的な育成・確保に係る取り組みが進められています。市においても国や県の取り組みに基づき、これまで検討を進めてきました。まず、最低制限価格の引き上げ、これについては、その引き上げが担い手確保の取り組みに活用されることがありますので、現在検討中です。

「余裕期間制度の導入」については、ぜひ本年度中に何とかしたいと考えています。「週休2日対象工事の発注」についても、本年度中に何とかしたいと考えています。

このような新たな制度の策定などを中心とした取り組みを進めています。地元業者の存続および育成について、建設工事では市内本社で施工または実施が可能なものについては引き続き市内本社を優先した発注を行います。また、市内本社が少ない業務委託における準市内業者の選定に係る取り扱いについては、実態調査の上、検討する必要があると考えています。

今後も国や県の取り組みに準じた対応を行っていくとともに、県内市町の取り組みについても情報収集を行い、市内業者の存続・育成に資する有効な手段について、引き続き検討を行っていきます。

このほか、「介護業界の人材確保に関する支援策について」などを質問しました。

一般質問

徳田
議員

○福島支所及び福島公民館整備について

質 福島支所は築66年、福島公民館は築57年経過し、老朽化でひび割れや雨漏りがひどいため、建て替えができないか伺います。

市長 旧福島小学校跡地を建設予定地として、支所機能と公民館機能と消防署福島出張所の3つの施設の複合化、スリム化および利便性を兼ね備えたものを計画しています。

令和7年度に基本設計、令和8年度に実施設計、令和9年度には建設工事に着手したいと考えています。

質 支所や公民館は、子ども連れも多く集まります。広い駐車場や多目的公園を整備できないか伺います。

福島支所長 駐車場の併用を前提に、必要台数を十分に考慮し、必要な面積が確保できるものと見込んでいます。

市長 施設の整備は、親しみやすいコンセプトを打ち出す必要性がありさまざまな視点で検討を重ねていきたいと考えています。

質 建設計画時には地元の意見を聞き、計画できないか伺います。

福島支所長 区長会をはじめ、支所窓口利用者や公民館利用者などに、

幅広くご意見を伺うことも検討していきたいと考えています。

○有害鳥獣駆除対策について

質 耕作放棄地の面積、狩猟免許所有者数およびその年齢の推移はどうなっているか伺います。

農業委員会事務局長 耕作放棄地は増加傾向であります。

農林課長 狩猟免許所有者数は減少傾向であり、高齢化が進んでいます。

質 捕獲イノシシの焼却処分を北松北部クリーンセンターで行えないか伺います。

農林課長 市の燃えるごみ袋に入る大きさまではごみ焼却場へ出すことができますが、成獣のほとんどがごみ袋に入らないため、ごみ焼却場には出せないという状況です。

質 イノシシ成獣の駆除補助金の推移について、また、イノシシ駆除補助金が減額されていますが、捕獲意識向上のため、県補助金の復活要望および市による今以上の上乗せができないか伺います。

農林課長 1頭当たりの金額が、平成26〜28年度1万5000円、平成29〜30年度1万4000円、令和元年〜現在1万2500円となっています。

市長 長崎県市長会において国や県への提言を協議する中で、予算拡充や新設を要望しており、今年度も県市長会議を経て要望していきます。

常任委員会の審査概要

総務委員会

【議案】令和6年度松浦市一般会計補正予算(第2号)(関係分)について

当初予算183億2942万9千円から5734万9千円を増額し、183億8677万8千円となりました。

○歳入の主なものとしては、国庫支出金1415万4千円の増、繰入金1622万5千円の増、諸収入2737万6千円の増となっています。

○歳出の主なものとしては、総務費2845万2千円の減、衛生費5502万6千円の増、土木費2365万6千円の増となっています。いずれも行政事務並びに事業遂行に必要な補正であり、妥当と認めました。

【議案】財産の取得について

校務用パソコン及び校内ネットワーク機器の老朽化に伴い、機器を更新するためのものであり、妥当と認めました。

【議案】財産の取得について

塵芥収集車の老朽化に伴い車両を更新するためのものであり、妥当と認めました。

文教厚生委員会

【議案】松浦市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準の一部改正に伴い、本条例の一部を改正するものであり妥当と認めました。

【議案】長崎県後期高齢者医療広域連合規約の一部を変更する規約について

行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の改正に伴い、規約の一部を改正するものであり、妥当と認めました。

【議案】令和6年度松浦市一般会計補正予算(第2号)(関係分)について

児童手当法の改正に伴い、児童手当システム改修等の委託料として396万円が計上され、行政事務並びに事業遂行に必要な補正であり、妥当と認めました。

産業経済委員会

【議案】令和6年度松浦市一般会計補正予算(第2号)(関係分)について

○アジフライの聖地松浦経済波及効果分析事業として96万5千円が計上されました。

「アジフライの聖地 松浦」に係る事業の取り組み成果を把握するため、シンクタンクに業務委託し、令和5年分の経済波及効果を分析するための予算計上であり、妥当と認めました。

○松浦松之介リニューアル事業として120万円が計上されました。

既に30年以上が経過する松浦市宣傳隊長「松浦松之介」の着ぐるみをリニューアルし、新バージョン1体を製作するための予算計上であり、妥当と認めました。

○契約管理システム改修事業として48万2千円が計上されました。

建設工事に係る余裕期間制度導入に対応するため、現行の契約管理システムを改修するための予算計上であり、妥当と認めました。

○工事用道路取得関連事業として3274万9千円が計上されました。

西九州自動車道松浦佐々道路事業で整備された工事用道路のうち4路

所管施設調査

【産業経済委員会】

5月28日、29日に所管施設調査を行いました。

28日は御厨町の市道田代木場線(災害復旧)、市道西木場女山線(改良工事)、西部工業団地(仮称)造成予定地、志佐町の浦川雨水幹線、農産物加工所、松浦水きよら館(下水施設)、不老山総合公園(閉鎖中)、高野団地、市道山崎線(改良工事)を。29日は福島町の市道土谷鯛の鼻線(改良工事)、今福町の市道中ノ瀬線(改良工事)、調川町の松浦魚市場などを訪れ、各施設の現状や、今後の整備計画などを調査しました。

道路の通行止めに伴い、現在閉鎖している不老山総合公園については、令和7年度中の再開を目指して老朽化した遊具やトイレなどを改修することです。各施設の調査結果を基に、今後の議案審査や政策提案に役立てていきます。

産業経済委員会所管施設調査の様子



市道山崎線



高野団地



不老山総合公園

その他各委員会の活動

【鷹島海底遺跡保存活用特別委員会】

5月15日に委員会を開催し、令和6年度の鷹島海底遺跡に係る事業計画についての説明を受けました。

文化財課からは、鷹島海底遺跡等に係る事業計画、埋蔵文化財センター施設整備計画、元寇所縁のネットワーク事業および普及啓発等について、政策企画課からはモンゴル国との交流について説明がありました。

また、松浦市歴史観光推進協議会との意見交換等、今度の交流について協議を行いました。今後とも同協議会との交流を進めていくことを確認しました。

【西九州自動車道及び道路網整備促進特別委員会】

5月14日に委員会を開催し、西九州自動車道における松浦2号トンネル等の名称決定までの過程等について、担当課に質問を行いました。

都市計画課からは、まず国土交通省から松浦市に意見照会があり、市で名称の素案を作成し、その後素案を基に議会や地区に説明会を行い、国土交通省に回答するという説明がありました。

委員からは、関係地区の住民の方々から、トンネル等に地元の名称

を付けてもらいたいという意見があるので地元の意見を尊重してもらいたい、また西九州自動車道上に地元への誘導看板を設置できないか等の意見がありました。

今後本特別委員会は、国への要望も含め、引き続き活動に取り組んでいきます。

県・県議会要望

5月27日市長、教育長、副議長、地元選出県議会議員、総務委員長、産業経済委員長、文教厚生副委員長、西九州自動車道及び道路網整備促進特別委員長、鷹島海底遺跡保存活用特別委員長および関係各課長出席のもと、大石県知事および徳永県議会議長に対し要望活動を行いました。

重点要望項目①鷹島神崎遺跡の保存と活用について②電源三法交付金制度の見直しについて

要望項目①原子力防災対策について②親元就農による経営継承に対する支援について③水産物輸出拡大施設整備事業により再整備を行った松浦魚市場を核とする加工・物流拠点整備のための新たな用地確保について④水産物の輸出・消費拡大対策について⑤伊万里湾における赤潮対策について⑥松浦魚市場における水揚

確保対策について⑦脱炭素社会における松浦火力発電所の存続について⑧一般県道（喜内瀬鍋串辻線）における福島大橋の機能拡張及び福島大橋から福島港間の改良事業の早期着手について⑨主要地方道（佐世保日野松浦線）における棕呂路トンネル（仮称）建設の早期着手及び赤木工区道路整備事業の早期完成について⑩西九州自動車道の整備について



県議会要望



県知事要望

議員表彰

5月22日に東京都で開催された、全国市議会議長会第100回定期総会において、左記の議員が表彰され、6月定例会で伝達されました。

20年表彰

崎田 廣美 議員

10年表彰

神田 稔 議員
徳田 詳吾 議員
宮本 啓史 議長



神田議員 崎田議員 宮本議長 徳田議員

決

議

【議員提出議案】松浦貯蓄共済協同組合に対する市の支援及び市長が令和6年4月16日に専決処分した市の金銭債権に係る訴えの提起の再考を求める決議について

6月定例会で上程された議案の審議において、賛否の討論を2人が行いました。

(反対討論者)

川下議員

(賛成討論者)

和田議員

討論後、挙手による採決を行った結果、挙手多数で可決しました。

(賛成) 8人

※決議文については11～12ページに掲載しています。

議会日誌

4月

11日◇長崎県市議会議長会定期総会 雲仙市

17日◇市議会だより編集委員会

19日◇全員協議会

25日◇九州市議会議長会定期総会 熊本市

5月

14日◇西九州自動車道及び道路網整備促進特別委員会

15日◇鷹島海底遺跡保存活用特別委員会

22日◇長崎県選出国會議員への要望活動 東京都

◇全国市議会議長会定期総会 東京都

◇全国市議会議長会各委員会合同会議 東京都

27日◇長崎県新幹線・鉄道利用促進協議会／長崎県空港活性化推進協議会／長崎県上海航路利用促進協議会合同総会 長崎市

◇長崎県知事・長崎県議会議長への要望活動 長崎市
28日・29日

◇産業経済委員会所管施設調査

30日◇西九州自動車道建設促進期成会定期総会 伊万里市

6月

4日◇東彼杵道路および棕呂路・板山トンネル建設促進期成会定期総会 佐世保市

7日◇議会運営委員会
◇各派代表者会

14日◇26日

◇6月定例会

14日◇議会運営委員会

24日◇各派代表者会

26日◇議会運営委員会

◇全員協議会

28日◇議会運営委員会

松浦貯蓄共済協同組合に対する市の支援及び市長が 令和6年4月16日に専決処分した市の金銭債権に 係る訴えの提起の再考を求める決議

市は、平成25年度に長崎県から中小企業等協同組合等の設立認可等に関する事務について権限委譲を受けており、松浦貯蓄共済協同組合の監督行政庁である。しかしながら、初年となる平成25年度の決算関係書類の提出を受けていないなど監督行政庁としてのずさんな対応が認められる。また、少なくとも令和元年度分までは決算関係書類の提出を受けているが、これらは、理事会及び総代会の承認を受けたものではなく正式な書類とは言い難く、その事実を見過ごしてきたことは行政の不作为であり監督責任が問われるべきものである。

さらに、同組合に対しては以前から預託金として反復・継続的な短期貸付けが行われており、監督行政庁として毎年組合の決算関係書類の提出を受ける立場でありながら、ずさんな融資審査のもとで令和2年度に2,500万円の長期貸付けに変更されている。これは、総務省からオーバーナイトを解消するよう求められていた市が、理事を保証人にして預託金を長期貸付けに切り替えたと言わざるを得ず、行政の判断として疑義がある。結果として令和4年度から返済が滞り、現在回収困難に陥っている。このことは、組合の業務改善を指導する権限を持つ立場にある市としては、あるまじき事態である。

この事件の起因となる令和2年5月15日付けの金銭消費貸借契約証書については、地方自治法第234条第5項において、契約当事者が相手方とともに契約書に記名押印しなければ、当該契約は確定しないものとする規定しているが、市長（委任を受けたものを含む）と組合理事長がともに対峙し契約証書を確認のうえで記名押印した事実は確認されておらず、契約締結のあり方にも問題がある。

また、市と組合の当該金銭消費貸借契約に係る連帯保証については、当該組合理事長ではなく当該組合事務局との間でやり取りが行われており、連帯保証人となった理事らは、自分たちが連帯保証人となる契約事項について情報の提供を受けることなく、その契約内容を誤認し、保証契約の申込みを行っている可能性が大である。その場合、連帯保証人は、保証契約を取り消すことができる旨を民法第465条の10第2項に規定されている。

これら幾重にも重なる手続きの不備は、市の行政責任を問われるべきものである。

然るに市長は、これら疑義ある金銭消費貸借契約に基づく金銭債権について、令和6年4月17日、松浦貯蓄共済協同組合及び同組合理事長以下5人の理事を相手とし、中小企業振興資金貸付金支払い請求に関する訴えの提起を長崎地方裁判所平戸支部に行っている。

しかも、今般、市長が専決処分により行った訴えの提起は、本来、地方自治法第96条第1項第12号に定められた議会の議決を必要とする事件である。

同法第180条第1項では議会の権限に属する軽易な事項で、その議決により特に指定したものは、市長においてこれを専決処分とすることができるとしているが、これを拡大解釈したものであり議会としては到底容認できるものではない。

今日までの松浦貯蓄共済協同組合に対する市の対応については、多くの市民からも厳しい批判が寄せられている。よって、下記の事項により適切な対策を講じられるよう求める。

記

1. 松浦貯蓄共済協同組合の債権、債務を確定させることが、市の債権回収にも繋がることから、同組合に対して市が具体的速やかに支援すること。
2. 中小企業振興資金貸付金支払い請求に関する訴えの提起を市長の専決処分とした判断は、議会が到底容認できるものではない。したがって、速やかに取り下げべき事案であるため再考すること。

以上、決議する。

令和6年6月26日

長崎県松浦市議会

議案等の審議結果

条 例	○松浦市手数料条例の一部改正について	可決（全員）
	◇松浦市公営住宅条例の一部改正について	可決（全員）
	◇松浦市建築関係手数料条例の一部改正について	可決（全員）
	□松浦市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決（全員）
予 算	◎令和6年度松浦市一般会計補正予算（第2号）	可決（全員）
	□令和6年度松浦市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可決（全員）
	□令和6年度松浦市青島診療所事業特別会計補正予算（第1号）	可決（全員）
	□令和6年度松浦市福島診療所事業特別会計補正予算（第1号）	可決（全員）
	□令和6年度松浦市鷹島診療所事業特別会計補正予算（第1号）	可決（全員）
	◇令和6年度松浦市水道事業会計補正予算（第1号）	可決（全員）
	◇令和6年度松浦市工業用水道事業会計補正予算（第1号）	可決（全員）
	◇令和6年度松浦市下水道事業会計補正予算（第1号）	可決（全員）
その他	※専決処分の承認について [松浦市税条例の一部改正について]	承認（全員）
	※専決処分の承認について [松浦市国民健康保険税条例の一部改正について]	承認（全員）
	※専決処分の承認について [令和5年度松浦市一般会計補正予算（第13号）]	承認（全員）
	※専決処分の承認について [令和5年度松浦市一般会計補正予算（第14号）]	承認（全員）
	※専決処分の承認について [令和6年度松浦市一般会計補正予算（第1号）]	承認（全員）
	※専決処分の承認について [令和5年度松浦市国民健康保険特別会計補正予算（第5号）]	承認（全員）
	※専決処分の承認について [令和5年度松浦市青島診療所事業特別会計補正予算（第6号）]	承認（全員）
	※専決処分の承認について [令和5年度松浦市松浦魚市場特別会計補正予算（第5号）]	承認（全員）

議案等の審議結果(つづき)

その他	◇損害賠償額の決定について	可決(全員)
	○松浦市消防署鷹島出張所新築事業庁舎新築工事(建築)請負契約の締結について	可決(全員)
	□長崎県後期高齢者医療広域連合規約の一部を変更する規約について	可決(全員)
	○財産の取得について	可決(全員)
	○財産の取得について	可決(全員)
	※損害賠償額の決定について	可決(全員)
請願	□ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2025年度政府予算に係る意見書採択の請願について	継続審査
	□義務教育費国庫負担制度負担率の引き上げをはかるための、2025年度政府予算に係る意見書採択の請願について	採択(全員)
	□健康保険証の存続を求める意見書採択に関する請願について	継続審査
	○地方財政の充実・強化に係る意見書採択に関する請願について	継続審査
同意	※松浦市職員懲戒審査委員会委員の選任について	同意(全員)
議員提出案	※義務教育費国庫負担制度負担率の引き上げをはかるための、2025年度政府予算に係る意見書の提出について	可決(全員)
	※松浦貯蓄共済協同組合に対する市の支援及び市長が令和6年4月16日に専決処分した市の金銭債権に係る訴えの提起の再考を求める決議について	可決(多数)

(注) 文頭の記号は審査の付託先を表しています。

◎・・・各常任委員会へ分割付託 ※・・・委員会付託を省略し全員審査

○・・・総務委員会 □・・・文教厚生委員会 ◇・・・産業経済委員会

△・・・議会運営委員会

編集委員の つぶやき

湿度が高く、蒸し暑い日が続いています。8月の気温は、特に西日本では平年より高くなり、厳しい暑さとなると見込まれています。熱中症は晴れて暑い日だけでなく、曇りや雨で湿度が高い日、また、屋外だけではなく室内でも注意が必要です。水分補給や適度な運動、入浴など、暑熱順化(体が暑さに慣れること)に有効な対策をとり、暑さに備えた体づくりにも心掛けていただければと思います。

さて、今夏もスポーツ等の全国大会が開催され、松浦市内からも、子どもから大人まで多くの方が出場されます。選手の皆さまは、日々の練習の成果を発揮され、一つでも多く勝ち上がられますよう頑張ってくださいと思います。市民の皆さまの応援をよろしくお願ひします。

これからも市民の皆さまの議会活動へのご理解や関心が深まるよう、市議会議員一同しっかりと努めてまいります。

市議会だより編集委員会

委員長 武部 周清
副委員長 吉岡 健次
委員 志水 周
委員 和田 大介
委員 川下 高広